

インマヌエル中目黒キリスト教会 2014年12月7日聖日礼拝

アドベント第二聖日

「卑しい者に目を留め給う主」

ルカの福音書 1章46節-56節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

ルカの福音書 1章46節-56節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp98~/第三版の聖書はp107~

46 マリヤは言った。「わがたましいは
主をあがめ、

47 わが霊は、わが救い主なる神を喜び
たたえます。

48 主はこの卑しいはしたために目を留めて
くださったからです。ほんとうに、
これから後、どの時代の人々も、私を
しあわせ者と思うでしょう。

49 力ある方が、私に大きなことをしてく
ださいました。その御名は聖く、

50 そのあわれみは、主を恐れかしこむ者
に、代々にわたって及びます。

- 51 主は、御腕をもって力強いわざをなし、
心の思いの高ぶっている者を追い散らし、
- 52 権力ある者を王位から引き降ろされま
す。低い者を高く引き上げ、
- 53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、
富む者を何も持たせないで追い返され
ました。
- 54 主はそのあわれみをいつまでも忘れな
いで、そのしもベイスラエルをお助け
になりました。

- 55 私たちの父祖たち、アブラハムとその子孫に語られたとおりです。」
- 56 マリヤは三か月ほどエリサベツと暮らして、家に帰った。

説教

アドベント第二聖日

「卑しい者に目を留め給う主」

ルカの福音書 1章46節-56節

竿代照夫牧師



主テキスト

「わがたましいは主をあがめ、わが霊は、
わが救い主なる神を喜びたたえます。主は
この卑しいはしたために目を留めてくださっ
たからです。」

(ルカ1:46-48)

はじめに

- アドベント第一聖日（ヘブル書より）：
「神はなぜ人となられたか」＝神の遜り
- アドベント第二聖日（ルカ伝より）：
「神が恵み給う人」＝人の遜り

A. マリヤについて

1. 名前：ミリヤムは、「太った」というヘブル語か、「愛される」をさすエジプト語から来たのか不明。ヘロデ大王の妻マリウムネ以来普及
2. 家系：（ヨセフ同様）ダビデ家の子孫、ただ、社会的な栄光は無し
3. 住まい：ナザレ村＝辺鄙な寒村
（ヨハネ1：46）
4. 人柄：聖書に培われた謙遜な品性

5. ヨセフとの婚約：14歳前後か？法的には妻、生活は別々
6. 受胎告知：メシヤたる男の子を生む
7. エリサベツを訪問：主の真実を共に
賛美

B. マリヤの賛歌（マグニフィカート）

1. ハンナの賛歌との類似

- 神の偉大さを賛美
- 神による逆転：高い者が低く、低い者が高くされる

2. 謙ったものに目を留め給う神

- マリヤは、自身の低さを自覚
(1ペテロ5:5)
- イスラエルの望みなき状況を確認

おわりに

- 自分の助けなき状況を認めよう
(詩篇 113:5-8、138:6)
- 主の憐れみを感謝しよう
(ヤコブ4:6)